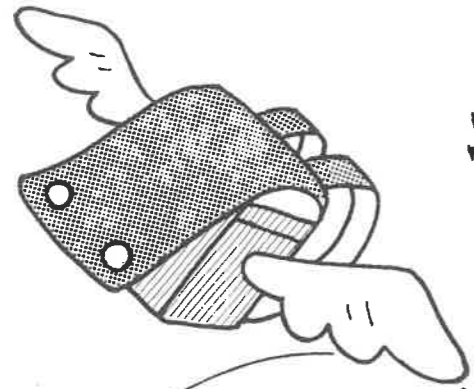


きみの はとふる・たいむ



ランドセルは 海を越えて 2024

アフガニスタンの 子どもたちに ランドセルを贈ろう!

2004年、化学メーカーの「クラレ」が使われなくなったランドセルを紛争と混乱が続くアフガニスタンの子どもたちに届けようと始めたのが「ランドセルは海を越えて」です。

これまで20年間で15万個のランドセルがアフガニスタンに贈られました。6年間の思い出がいっぱい詰まったランドセルが、全国から毎年たくさん届いています。

海を越えたのはランドセルですが、かけがえのない子どもたちの友情こそ未来につながる希望です。



©2020 KURARAY Co.,Ltd.

▶ お送りいただけるランドセル

- ◎ 宗教上の理由で、一部でも豚皮を使用したランドセルは届けることができません。
(主にランドセルのふたの裏側に使用されていることがあります。三つの連続した毛穴が開いているように見えます。)
- ◎ 使用可能なランドセル (金具なども含め) (こわれていないもの)
- ◎ 学校指定のデザインランドセルでないこと (横型やキャンバス地は) (お受けできません。)



©2020 KURARAY Co.,Ltd.

- ▶ 「ランドセルは海を越えて」ホームページから応募してください。
→ ランドセル受付倉庫(首都圏内)までの送料は、ご負担ください。アフガニスタンまでの輸送費と配布費用は「クラレ」が負担いたします。
- ▶ 紀美野町ボランティアセンターへ直接お持ちいただいてもOKです。
→ ボランティアセンター受付は3月22日(金)しめ切りです。



アフガニスタンでは、タリバン政権時代に女子教育が認められていなかった影響もあり、女の子は学校に通わせてもらえない子どもたくさんいました。

ランドセルを男女平等に配ることで「女の子も男の子と同様に学校で勉強させてあげるべき。」と親の考え方も少しずつ変わりはじめました。

その他

未使用の学用品

- ▶ ノート・えんぴつ・消しゴム
- ボールペン・クレヨン
- えんぴつ削りがございましたら、ランドセルの中に入れてください。
- (ハサミ・カッター・楽器)
- ナイロンバッグ・衣類は
- お受けできません。



1月号のクイズのこたえ-----

タイガンジヨウジユ

たくさんのご応募ありがとうございました
5名の方に粗品をお送りしました

お問い合わせ 紀美野町ボランティアセンター

TEL 489-2255 (担当 西浦)